2006/10/13

品質保証検討グループ
2006 年度 第２回会合 議事録（案）

日　時　：２００６年１０月１３日（金）１３：３０～１７：３０
場　所　：システム計算科学センター　小会議室
出席者　：吉田（武蔵工大）、瑞慶覧（ナイス）、上松（東芝）、
須山、奥村、石川、柴田、岩本（JAEA）、山野（東工大）以上 9 名〈敬称略・順不同〉

配布資料：
0. 前回会合議事録（案）
1. U-238 核データ評価手順（Ａグループ）

議　事　：
1. 前回会合議事録（案）の確認がなされた。
2. A グループより資料 1 に基づき、U-238 の評価を例題として品質保証文書に記載すべき項目について説明があり、検討・議論が行われた。品質保証に必要な情報は、説明責任を目的としたデータの再現性に必須なものであり、実際の評価者が記載できる様式にまとめるべきである。様式は文書管理規則に則った文書管理番号で階層的に整理する必要がある。また、評価や処理に使用した入力データも保存すべきである。以上の合意の基に、下記の様式案が検討された。
(1) 経緯
MF1 に記載されるコメントファイルの内容。データの更新がなされた場合の理由。評価の際の処理流れ（手順）。過去の評価履歴がわかる参考文献やデータ集のリスト。
(2) MF=1
採用した実験値、範囲（エネルギー等）、採用理由、処理方法、処理手順、処理法の設定、参考文献、特に考慮した項目に対するコメント。
(3) MF=2
上記(2)に加え、分離・非分離共鳴領域の設定理由、計算コード、計算パラメータ設定理由。
(4) MF=3
上記(2)に加え、モデル選定理由、OMP 選定理由、計算パラメータ設定理由。ランプ化した場合の設定理由。
(5) MF=4
上記(2)に加え、モデル選定理由、計算パラメータ設定理由。DDX または Legendre 関数展開を選んだ理由。
(6) MF=5
上記(2)に加え、モデル選定理由、計算パラメータ設定理由。
(7) MF=12, 13, 14, 15
上記(2)に加え、モデル選定理由、計算パラメータ設定理由。エネルギー範囲の設定理由。
(8) MF=31, 32, 33, 34, 35
上記(2)に加え、モデル選定理由、計算パラメータ設定理由。推定理由。
3. 抽出された上記の要件をさらに検討して次回会合までに様式（案）を A グループでまとめることとした。とりまとめは、柴田委員・岩本委員が行う。
4. 積分検証・精度評価についても上記と同様に要件抽出作業を B,C グループで行い、次回会合まで

に様式（案）を B,C グループでまとめることとした。とりまとめは、石川委員が行う。また、文書管理規則及び文書番号管理方法は須山委員が検討することとした。

5. 次回会合において、A, B,C グループの様式の記載内容を検討するとともに、性能保証のあるべき要件について、目標、組織、適用範囲、手順、プロセス・プロセス間の相互関係（内部監査、不適合対応、継続的改善）について議論する予定とする。

（参考）A グループ：吉田、瑞慶覧、柴田、岩本
B,C グループ：山野、中島、上松、田原、須山、奥村、石川

次回予定：2007 年 1 月 26 日（金）13:30-17:30 場所：システム計算科学センター会議室（上野）
次回予定議題：　記載事項の必須項目（B,C グループ）の検討
記載事項の必須項目（A グループ）の検討
性能保証の要件についての検討
その他

以上